

## 電力・ガス取引監視等委員会の検証に関する専門会合の 設置について

### (趣旨)

委員会設立から5年弱が経過し、委員会を巡る状況は大きく変化していることを踏まえ、委員会のこれまでの活動、今後委員会が注力すべき課題、それら課題に取り組むための委員会の組織の在り方等に関する調査・審議を行うため、当委員会の下に「電力・ガス取引監視等委員会の検証に関する専門会合」を設置することについて、ご審議いただく。

### 1. 背景

委員会は、一連のエネルギーシステム改革において、自由化された電力・ガス市場における取引の監視機能を強化し、電力・ガスの適正な取引の確保に万全を期すため、独立性と高度な専門性を有する新たな規制組織として2015年9月に設立された。

委員会の設立から5年弱が経過する中、多数の事業者が電力・ガス市場に新たに参入し、2020年4月には発送電分離が実現するなど、委員会を巡る状況は大きく変化している。

また、先の第201回通常国会においては、2019年の台風第十五号等による大規模かつ長期間の停電等を踏まえ、「強靱かつ持続可能な電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律案」が成立し、委員会の業務が追加された。さらに、同法の国会審議においては、関西電力におけるコンプライアンス違反事案等を踏まえ、委員会の組織の在り方についても議論があった。

### 2. 設置

これらの状況を踏まえ、電力・ガス取引監視等委員会運営規程第6条第1項の規定に基づき、7月20日付けで当委員会の下に「電力・ガス取引監視等委員会の検証に関する専門会合」を設置し、別添の者を座長及び構成員として、以下の事項に関して調査・審議することとしてはどうか。

#### (調査・審議事項)

- ・ 電力・ガスシステムの現状
- ・ これまでの委員会の活動、委員会が果たしてきた役割
- ・ 今後委員会が注力すべき課題
- ・ 課題に取り組むための委員会の組織の在り方等

(別添)

電力・ガス取引監視等委員会の検証に関する専門会合  
委員名簿（案）

(敬称略、五十音順)

(座長)

山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長

(専門委員)

武田 邦宣 大阪大学 大学院法学研究科 教授

田中 誠 政策研究大学院大学 教授

藤田 由紀子 学習院大学 法学部 教授

丸山 絵美子 慶應義塾大学 法学部 教授